

●サイドカバー、シートまわり (CB1100 EX、CB1100 RS)

トラディショナルなオートバイらしいシルエットを守るため、個々の車体構成部品を機能的な形状に作り込むと同時に、完成車としてそれらの調和を図ることも重視。フューエルタンクの造形と並行してサイドカバーやシートまわりも新設計しました。さらに、各パーツの仕上げには、質感の違いによるコントラストを持たせることで各々の美しさを際立たせました。

アルミプレス製サイドカバーは、熟練した技能者が手作業でバフ仕上げによるヘアライン加工を施し、素材の持つ質感を引き出しました。また、これと組み合わせられるエアクリーナーカバーも形状を見直すとともに一部をクローム仕上げとしました。

従来モデルからクッション形状の見直しを図ったシートは、CB1100 EX、CB1100 RSそれぞれの性格によりふさわしい仕上げとするために、新設計のクッション部を共通としながら表皮を専用仕様としています。

CB1100 EXのシートは、従来からのゆったりした乗り味をイメージさせる厚めのワディング※を採用した仕上げとしました。

CB1100 RSのシートは、前後縦方向のワディングを採用することで、よりスポーティーなイメージを演出しました。

これらに合わせ、シート下端ラインに沿わせた形状のスチールパイプと鍛造ジョイント部からなるリアパイプを新採用。CB1100 EXはクロームメッキ、CB1100 RSは黒塗装仕上げとしています。

※多層構成の表皮



■サイドカバーのヘアライン加工



■サイドカバー



■CB1100 EX (Type I)



■CB1100 RS